

ベネズエラの最新動向(2月1日~2月15日)

I. 政治・経済

1. 2008年FONDENに73億ドルの資金移転

- 2月14日付 El Universal 紙によれば、2008年に国家開発基金(FONDEN)は73億ドルを受け入れる予定。
- このうち、15億ドルはベネズエラ中銀からだが、2007年の60億ドルから大幅減となる。PDVSAからは58億ドルの資金移転が予定されている。
- PDVSAについては、石油収入から毎週1.2億ドルをFONDENに移転しているが、政府はこの金額を2億ドルまで引き上げることを検討中。

II. 石油その他の資源セクター

1. 米国ニューヨーク連邦地裁がPDVSA資産凍結を認める

- 2月13日、ニューヨーク連邦地方裁判所は、Exxon Mobilが要求していたPDVSAの資産凍結に係る審問を行い、これを認める審判を下した¹。
- 同審判を下した米国連邦裁判所の Deborah Batts 判事は、差し押さえ金額(Bank of New Yorkの口座にある3.15億ドル)はPDVSAがExxon Mobilへ補償として支払う金額ではなく、補償が成立した際のPDVSAの支払能力を保証するものと説明。

2. PDVSAがBORCOをFirst Reserveに売却

- 2月12日、PDVSAはバハマにあるBORCO(Bahamas Oil Refining Company)を米国First Reserve Corporation²に売却する旨発表。
- ラミレス石油エネルギー大臣によれば、売却額は9億ドル。
- BORCOはフロリダ沖合のバハマのFreeportにあり、カリブ地域最大の2千万バレルの貯蔵量を誇る。PDVSAは1990年にChevronからBORCOを購入していた。

¹ 2月7日、Exxon Mobilはオリノコ川超重質油鉱区における合併プロジェクトの国有化をめぐる補償につき、ニューヨーク連邦裁判所の他に、英国、オランダ及びオランダ領アンティル諸島の各裁判所よりPDVSAの資産凍結命令を取り付けていた旨発表。英国裁判所はPDVSAの世界各地の資産120億ドルの凍結をめぐり、2月22日に審問を行う予定。

EIAによると、Exxon Mobilによるベネズエラから米国への原油輸入量(2007年11月時点)は9万b/d。Exxon Mobilの全原油輸入量(43百万b/d)に占める、ベネズエラからの輸入量はその6.3%に相当する270万バレル。

²米国の非公開投資会社で、エネルギー業界を主に事業展開している。

3. コロンビアがベネズエラに天然ガスを供給

- 2月4日、コロンビアのマルティネス・鉢山エネルギー大臣は、コロンビアがベネズエラに天然ガスを供給する旨を発表。
- コロンビアの石油公社Ecopetrol は、2007年10月に開通した両国間のパイプラインを利用して、PDVSAの子会社に230万～260万立方m/dの天然ガスを供給する。
- なお、2012年からは、ベネズエラからコロンビアに対して390万立方m/dの天然ガスが供給される予定。

4. PDVSAが11.25億ドルをシンジケート・ローンにより調達

- 2月3日、PDVSAはBNP Paribasを幹事行とするシンジケート・ローンにより、11.25億ドルの資金調達を行った旨を発表。
- 同ローンは、PDVSAが既存の融資期間1年のリボルビングファシリティのリファイナンスを2007年11月から交渉していたもの。
- 今回は市場環境の悪化等から資金調達コストが上昇し、Libor+150bp(前回は同+100bp)となったほか、手数料も0.25%引き上げられた。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。